様式第19（第１条関係）

地域医療支援病院業務報告書

令和７年９月１７日

愛知県知事殿

開設者　住　所　　愛知県瀬戸市西追分町160番地
（法人の場合は、主たる事務所の所在地）
氏　名　　公立陶生病院組合
（法人の場合は、名称及び代表者の職・氏名）　管理者
瀬戸市長　川本　雅之

下記のとおり、令和６年度の業務に関して報告します。

記

1　病院の名称等

名　　　称	公立陶生病院					
所　在　地	愛知県瀬戸市西追分町160番地					
診　療　科　名	内科、脳神経内科、呼吸器・アレルギー疾患内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、血液・腫瘍内科、緩和ケア内科、化学療法内科、感染症内科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、歯科口腔外科、病理診断科					
病　床　数	精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
	―	6	25	―	602	633

2　施設の構造設備

施　設　名	設　備　概　要
集　中　治　療　室	（主な設備）人工呼吸器、呼吸循環監視装置、除細動器、心臓ペースメーカー、ポータブルX線撮影装置等　病床数　８ 床
化　学　検　査　室	（主な設備）BM8020 2台、BM6050 1台、COBAS8000 1台、COBASe411 1台、ルミパルスＬ2400 2台等
細　菌　検　査　室	（主な設備）バクテアラートVIRTUO 2台、WalkAway96 2台、質量分析機（MALDI-TOF）1台、Gene-Xpert　2台、Filmarray 1台等
病　理　検　査　室	（主な設備）電子顕微鏡、自動染色装置、病理システム、遺伝子解析装置等
病　理　解　剖　室	（主な設備）解剖台（高さ調整付）、臓器撮影装置、自動吸引器等
研　究　室	（主な設備）電子カルテ端末　2台、シャウカステン、プロジェクター、モニター
講　義　室	室数　4　　収容定員　274 人
図　書　室	室数　1　　蔵書数　1,600 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数　2台　（患者搬送用自動車　主な設備）ストレッチャー、酸素供給装置、吸引器一式、酸素ボンベ、100Vインバーター、換気扇、手洗い器
医薬品情報管理室	〔専用室の場合〕　床面積　50.76　㎡

備考１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。
　２　規則第９条の２第１項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

別紙１

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

１　算定期間　　　　令和　6年　4月　1日　～　令和　7年　3月　31日

２　紹介率　　　　80.8 ％

紹介患者の数（A）	初診患者の数（B）	紹介率（A／B×１００）
15,716 人	19,438 人	80.8 ％

３　逆紹介率　　　110.8 ％

逆紹介患者の数（C）	初診患者の数（B）	逆紹介率（C／B×１００）
21,545 人	19,438 人	110.8 ％

※１　各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※２　紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第１位まで記入すること。

※３　紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、２年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

※参考資料１

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙２

共同利用の実績
（地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用）

１　共同利用の実績

※１　前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

・前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数　1,827 件（内訳）共同利用検査1,804 件
共同利用病床　23 件

・うち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数　1,827 件

・共同利用に係る病床の病床利用率　合計　4.8 %

５Ｓ病棟	５７１５①室	1.6 %
	５７１５②室	6.0 %
８Ｓ病棟	８７１１室	8.2 %
	８７１２室	2.2 %
	８７１３室	6.0 %

※参考資料２、３（共同利用対象施設については利用なし）

２　共同利用の範囲等

※２　病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

・胃内視鏡検査、CT、MRI、注腸造影検査、X-P、骨塩定量検査、心臓カテーテル検査、腹部超音波検査、頚動脈超音波検査、その他（シンチグラフィ、ABI、脳波、甲状腺エコー、PCR
動脈硬化Lite（①頚動脈エコー、②ABI、③CT（心臓）、④CT（体幹部））
・開放病床（５Ｓ病棟 2 床、８Ｓ病棟 3 床）

３　共同利用の体制

共同利用に関する規程	㊒　・　無	
利用医師等登録制度の担当者	氏　名	
	職　種	医師

※３　共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

４　登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住　所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
※資料１参照				

※４　申請に係る病院と同一の２次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

５　常時共同利用可能な病床数　5 床

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙３

救急医療提供の実績

１　重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

№.	職　　種	氏　　　名	勤　務　の　態　様	勤　務　時　間	備　　考
※資料２参照			常勤・非常勤　専従・非専従		

２　重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称（　集中治療室・NICU　）	14 床
専用病床	名称（　ER病床　・　ERICU　）	20 床

※　一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

３　重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施　　設　　名	床　　面　　積	設　　備　　概　　要	24時間使用の可否
救命救急センター	2296.12 ㎡	（主な設備）診察室（7）、処置室（6）、レントゲン（一般2）（透視用1）（CT1）、救急病床（8）、ER-ICU（12）	○
血管撮影室	461.94 ㎡	（主な設備）心臓血管撮影装置（2）、多目的血管撮影装置（1）	○
中央手術部	1704.78 ㎡	（主な設備）手術室（10）	○
臨床検査部	1289.07 ㎡	（主な設備）BM8020 2台、BM6050 1台、COBAS8000 1台、COBASe411 1台、Gene-Xpert　2台、ORTHOVISION　1台、ルミパルスＬ2400　2台 等	○

４　救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	8,133 人（　3,530 人）
上記以外の救急患者の延べ数	18,320 人（　3,020 人）
合計	26,453 人（　6,550 人）

※（　　　）内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

５　保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数　214 回

６　備考

救急告示病院　昭和39年8月5日　認定期間令和5年2月1日～令和8年1月31日 救命救急センター指定　平成26年1月1日

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」（昭和３９年厚生省令第８号）に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」（昭和５２年７月６日付け医発第６９２号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙４

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

１　研修の内容

※資料３－１参照

２　研修の実績

（１）地域の医療従事者への実施回数	91 回
（２）（１）の合計研修者数	2,619 人

※　研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

（２）には、前年度の研修生の実数を記入すること。

３　研修の体制

（１）　研修プログラムの有無　　　㊒・無　　※資料３－２参照

（２）　研修委員会の有無　　　　　㊒・無

（３）　研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
※資料３－３参照				年	

※　研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

４　研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第1会議室	338.4 ㎡	（主な設備）AVシステム、マイク、大型スクリーン、電子カルテ端末1台、プロジェクター2台、情報コンセント、OHC、BRプレーヤー、ホワイトボード、机、椅子、講演台、モニター、CD、SD、USB
第2会議室	62.2 ㎡	（主な設備）電子カルテ端末1台、プロジェクター、情報コンセント、机、椅子、キッチン、給湯器、モニター
第4会議室	67.2 ㎡	（主な設備）電子カルテ端末1台、プロジェクター、机、椅子、情報コンセント、モニター
多目的室	129.484 ㎡	（主な設備）音響システム、机、椅子、スクリーン、モニター、プロジェクター、電子カルテ端末 1台

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙５

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

１　管理責任者等

	氏　　名	職　　種	役　職　等
管理責任者の氏名、職種、役職等		医師	医局長
管理担当者の氏名、職種、役職等		医師 事務 事務	地域医療連携室長 総務課長 経営課長

２　諸記録の保管場所及び分類方法

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		①総務課 ②医事課もしくは診療録監査室	①日付順 ②患者ID番号（診療録方式）
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	救急部	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	
	閲覧の実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	

※　「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙６

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

<table>
<tr><td rowspan="2">閲覧責任者</td><td colspan="2">氏名</td><td colspan="2">職種</td><td>役職等</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">医師</td><td>医局長</td></tr>
<tr><td rowspan="2">閲覧担当者</td><td colspan="2">氏名</td><td colspan="2">職種</td><td>役職等</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">医師
事務</td><td>地域医療連携室長
医事課長</td></tr>
<tr><td>閲覧場所</td><td colspan="5">地域医療連携室、救急外来、各病棟</td></tr>
<tr><td rowspan="2">総閲覧件数</td><td>医師</td><td>歯科医師</td><td>地方公共団体</td><td>その他</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>106</td><td></td><td>44</td><td></td><td>150</td></tr>
<tr><td>閲覧手続の概要</td><td colspan="5">・登録医が紹介患者の電子カルテ閲覧を希望する場合は、地域医療連携室に申し出る
・システム管理係がIDおよびPWを発行する
・閲覧は院内の限られた場所でのみ行う
・院内での電子カルテ閲覧に関して、特別な費用負担はない</td></tr>
</table>

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙７

医療法施行規則第９条の１９第１項に規定する委員会の開催の実績

１　委員会の開催回数　４ 回

２　委員会における議事の概要
※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

○第50回地域医療支援委員会　令和6年4月25日（木）14時～　北棟5階　第2会議室
議題　・令和5年度地域医療連携関連実績報告　・意見交換　・その他
出席数/委員数　14名/17名　会場 9名　WEB 5名
○第51回地域医療支援委員会　令和6年7月25日（木）14時～　北棟5階　第2会議室
議題　・令和6年4月～6月地域医療連携関連実績報告　・意見交換　・その他
出席数/委員数　13名/17名　会場 8名　WEB 5名
○第52回地域医療支援委員会　令和6年10月24日（木）14時～　北棟5階　第2会議室
議題　・令和6年4月～9月地域医療連携関連実績報告　・意見交換　・その他
出席数/委員数　13名/17名　会場 8名　WEB 5名
○第53回地域医療支援委員会　令和7年1月30日（木）14時～　北棟5階　第2会議室
議題　・令和6年4月～12月地域医療連携関連実績報告　・意見交換　・その他
出席数/委員数　16名/17名　会場 11名　WEB 5名

※資料４（委員会名簿、議事録等）参照

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙８

患者相談の実績

患者相談を行った場所	医療相談窓口・医療ソーシャルワーク室内相談室・その他（がん相談室・退院調整室・病棟カンファレンスルーム等）		
患者相談担当者	氏　　　名	職　　　種	役　職　等
	患者相談室長　2,189 件 がん相談支援センター長　他 5名　3,002 件 患者支援センター在宅医療室長兼入退院支援室長　他 3名　938 件 医療ソーシャルワーク室長　他10名　21,288 件		
患者相談件数	27,417 件		

患者相談の概要　　※資料５	
診療科相談、健康・病気についての相談	82 件
職員（医師、看護師、事務職員など）対応について	135 件
医療制度（治療費、手続き）について	1,054 件
介護全般（介護方法、サービス、診療（通院・往診））について	633 件
医療処置について	1,710 件
治療以外の病院機能の質問	334 件
各種制度利用・経済的な問題の解決、調整援助	2,441 件
地域活動・関係機関との連携調整	160 件
社会復帰支援	364 件
受診・受療支援	362 件
経済的問題の解決、調整支援	180 件
セカンドオピニオン・紹介について	37 件
非がんセカンドオピニオンについて	26 件
治療副作用について	82 件
退院支援	19,049 件
苦痛・不安について	267 件
その他	501 件

※　患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙９

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

・退院時共同カンファレンスの開催　（がん以外）21 件　　（がん）110 件

・患者宅への同行訪問　14 件

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

・ケアマネージャーとの情報交換（介護支援連携指導）　142 件

・電子@連絡帳「もーやっこネットワーク」の活用

・通院中の患者がADLの低下に伴い通院困難になった場合、訪問診療医、訪問看護ステーション訪問リハビリ、通所リハビリ等に関する情報提供を行い、その利用調整を行っている

・転院入所、在宅支援　1,783 件

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

・在宅医療室における訪問看護の実施　4,596 件

・訪問診療　98 件

・臨床工学技士による在宅人工呼吸器等の管理　144 件

・HST（Home Medical Care Support Team）の活動、退院支援および退院移行後の支援と教育活動

・医療連携実務協議会　全8回

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。

別紙１０

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

１　連携体制を確保するための専用の室、担当者

専用の室の名称	地域医療連携室		
担当者	氏名	職種	役職等
		医師 医師 事務	患者支援センター長 地域医療連携室長 地域医療連携室長補佐

２　病院の機能に関する第三者による評価　　※資料６

評価を行った機関名	公益財団法人　日本医療機能評価機構
評価を受けた時期	2021年9月17日～2026年9月16日

※　医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

３　退院調整部門の取組

退院調整部門の実績
　実件数　2,227 件
　サービス担当者会議開催数　9 件
　退院時共同カンファレンス開催数　148 件

４　地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容
　大腿骨頚部骨折地域連携パス、脳卒中地域連携パス、５大がん地域連携パス、心不全地域連携パス
　糖尿病地域連携パス

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み
　尾張東部地域連携パス検討会の定期的な開催 年3回

５　病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法
　インターネットホームページ、構成市広報誌、院内ポスター掲示、院内電光掲示板、もーやっこネットワーク、報道機関への記事提供等

内容等の概要
　病院紹介
　医療従事者向け勉強会、市民向け公開講座等の案内
　当院で取り組んでいる医療についてのコラムの連載

備考　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とする。